

# Matsuda

No.207  
2017.8.15

 松田町議会だより



## 夏も快適! ドッグプール

7/21 寄七つ星ドッグラン グランドオープン

第2回定例会の概要・

常任委員会報告 ..... 2

条例・補正予算・指定管理者・

同意・報告 ..... 3

一般質問 ..... 4

議案審議結果一覧 ..... 8

政務活動費収支報告 ..... 9

議会報告会の概要 ..... 10

住みやすい町を目指して<sup>③〇</sup> ..... 12



介護予防や生活支援事業に使用する機能訓練室

## 平成29年 第2回定例会 会期 6月6日(火)~8日(木)

- 6/6** 一般質問  
中野議員・鈴木議員 (P 4)  
南雲議員・田代議員 (P 5)  
小澤議員・石内議員 (P 6)  
飯田議員・齋藤議員 (P 7)
- 6/7** 一般質問  
平野議員 (P 8)  
議案審議  
議案7件(条例、補正予算)  
議案審査  
委員会1件(条例)
- 6/8** 議案審議等  
委員会報告1件(条例)、議案2件(指定管理者、補正予算)、同意8件(農業委員)、各種報告などが行われ、閉会しました。

第2回定例会は、6月6日から8日までの3日間の会期で開催されました。条例(新設2件・一部改正3件)、補正予算3件、指定管理者1件、同意8件を審議し、可決・同意しました。

ここでは、産業厚生常任委員会に付託された「議案第21号 松田町介護予防・生活支援拠点施設の設置及び管理に関する条例」についての主な審査の概要を掲載します。

### 産業厚生常任委員会で審査

松田町介護予防・生活支援拠点施設の設置及び管理に関する条例

この条例は、6月7日に上程され、新設条例であることやこの施設は介護予防・生活支援拠点施設と谷戸地域集会所の機能を併せ持つことから、産業厚生常任委員会へ付

託されました。委員会で、福祉課職員出席のもと審査し、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定し、8日の本会議で委員会報告を行い、賛成全員で可決されました。委員会の審査概要は次のとおりです。

**【質】** 介護予防・生活支援拠点施設と谷戸地域集会所の併用は可能か。  
**【答】** 補助金の関係で厚生

労働省の財産処分承認基準があり、施設の業務時間外の時間帯や休日を利用し、本来の事業に支障を及ぼさない範囲で一時的に他用途に使用する場合は、財産処分には該当しません。

**【質】** 介護予防・生活支援拠点施設の条例で、開館時間を午前9時から午後5時とし、また、施行規則に休館日と施設の利用時間外の取り扱いを定めていますので、併用は可能ですか。

**【質】** 介護予防・生活支援拠点施設と谷戸地域集会所の併用になるが、地元の谷戸自治会との話し合いはできているのか。

**【答】** 事業予定や施設全体を自治会が使うことも可能である等の話し合いをしました。町の事業は、事前に調整するので、利用が可能になります。

**【質】** 機能訓練室で町が介護事業を行っているとき、会議室を谷戸自治会が使用することはできるのか。

### 産業厚生常任委員会報告書(抜粋)

#### 審査の内容

この条例は、国の交付金事業で建設された介護予防・生活支援拠点施設のため、従来の「地域集会所等の設置及び管理に関する条例」との相違点を中心に質疑を行いました。

また、介護予防や生活支援の実施計画について、自治会と調整されていることを確認しました。

審査の結果、施設を運営するために必要なものであるため、次の項目について、強く申し入れをして原案のとおり賛成することとしました。

- (1) 新たな地域の拠点施設として、先進的なモデル事業を導入しているため、介護予防や日常生活に対する支援について積極的に取り組むこと。
- (2) 従来の地域集会所としての機能を併せ持つことから、自治会との連携により双方の機能を最大限活用できる施設とすること。

**【答】** 使用は可能です。なお、機能訓練室も町が使用してなければ、自治会も使用できます。

**【質】** 介護予防・生活支援拠点施設の事業計画はどうなっているのか。

**【答】** 呼吸法機能訓練を毎週水曜日の午前中というところで年間32回、各種介護予防等講座・講演会等を2から3ヶ月に1回ぐらいい、地域の茶の間活動も実施する予定です。

**【質】** 呼吸法機能訓練は、1回何人くらいか。

**【答】** 1回あたり13人から15人を予定しています。町の保健師が1人から2人と理学療法士がついて実施します。

**【質】** 相談室があるが、相談記録等のプライバシーは守られるのか。

**【答】** 個人情報に当たるものは、相談室に保管しないよう運用の中で行う予定です。

# 条例・補正予算・指定管理者・同意・報告

## ▼まつだ乾杯条例

本町産又は本町で生産された農産物を使用した地酒、お茶、清涼飲料水、その他の飲み物による乾杯を推進することにより、

町民の郷土愛の醸成及び町内産業の活性化を図るため、提案するものです。

## ▼松田町介護予防・生活支援拠点施設の設定及び管理に関する条例

谷戸地域に松田町介護予防・生活支援拠点施設が完成したため、施設の設定及び管理等に関する必要な事項を定める必要が



完成した介護予防・生活支援拠点施設

あるため、提案するものです。この条例は、産業

厚生常任委員会へ付託されましたので、詳細については、2ページをご覧ください。

## ▼松田町個人情報保護条例の一部を改正する条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、条文の整理をするものです。

## ▼松田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険法施行令の一部を改正する政令が施行されたことによる国民健康保険税の軽減措置について、5割軽減及び

2割軽減の対象世帯に係る所得判定基準が改められたことに伴い、改正をするものです。

## ▼松田町消防団員等公務災害補償条例の一部を改

正する条例

## 正する条例

非常勤消防団員等の基準を定める政令の一部を改正する政令の公布に伴い、補償基礎額の加算額や文言の改正をするものです。

## ▼平成29年度松田町一般会計補正予算(第1号)

一般会計補正予算(第1号)は、歳入歳出それぞれ429万円を追加し、予算総額を45億6429万円とするものです。

主な内容は、教育・子育てに対する特定寄附金と消防団員退職報償金を補正するものです。

## ▼平成29年度松田町下水道事業特別会計補正予算(第1号)

下水道事業特別会計補正予算(第1号)は、歳入歳出それぞれ420万円を追加し、予算総額を3億4861万1千円とするものです。

主な内容は、庶子マンホールポンプ3号の故障による改修工事・町債等を補正するものです。



マンホール内の污水ポンプ交換(城山地区)

## ▼松田町介護予防・生活支援拠点施設の設定管理の指定について

松田町介護予防・生活支援拠点施設を平成29年6月15日から平成33年3月31日まで、谷戸自治会を指定管理者に指定するものです。

## ▼平成29年度松田町一般会計補正予算(第2号)

一般会計補正予算(第2号)は、歳入歳出それぞれ524万3千円を追加し、予算総額を45億6953万3千円とするものです。

主な内容は、まつだ乾杯条例の可決に伴い啓発関連事業、二酸化炭素排出抑制対策事業の補正をするものです。

## ▼農業委員会委員の任命について

農業委員会委員が平成29年7月19日に任期満了となるため、次の8名の方が任命同意されました。(法律の改正により、農業委員の選出方法が、公選制から町長の任命制に変わりました。)

- |          |          |
|----------|----------|
| 吉田 輝夫 氏  | 北村 重治 氏  |
| 長谷川 和明 氏 | 長谷部 平八 氏 |
| 内藤 慶司 氏  | 古谷 康 氏   |
| 鍵和田 功 氏  | 佐野 晃一 氏  |

## ▼平成28年度松田町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

複合拠点施設整備事業、定住少子化対策支援事業、道路新設改良整備事業など11事業について、2億3815万3千円を29年度へ繰り越した計算書の報告がされました。

谷戸地域に建設の介護予防・生活支援拠点施設整備事業について、2299万円を29年度へ繰り越した計算書の報告がされました。

## ▼平成28年度松田町下水道事業会計継続費繰越計算書の報告について

平成28年度から29年度の継続事業となっている中河原水源電気設備改修事業について、811万円を29年度へ繰り越した計算書の報告がされました。

## ▼平成28年度松田町介護保険事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について

谷戸地域に建設の介護予防・生活支援拠点施設整備事業について、2299万円を29年度へ繰り越した計算書の報告がされました。

## 審議の結果

以上、議案9件、同意8件を審議し、原案のとおり可決・同意をし、報告3件を受けました。採決の結果は、8ページをご覧ください。

# 一般質問

# ここが聞きたい

町長等の執行者に対して、町政全般の事務事業等の執行状況や政策方針などを聞くことが一般質問です。

## 町長の政治姿勢を問う



質問者  
中野 博 議員

町長に就任して以来、4年が過ぎ去ろうとしています。4年が過ぎ去ろうとしていますが、スピーディにモットーに様々な事業を提案・実行してきたことに対して、大いに評価されていると思われま

**A**  
感謝の気持ちで  
恩返し

回答（町長）



4年を振り返っては、ただただ感謝の気持ちで

「オール松田」の合言葉に沿って、まちづくりを進める中、私をわかっ

束があり、地方創生事業を完遂する責任もある。何より、もっと町に恩返ししたい気持ちがある。座右の銘である「温故知新」の精神を大事にし、これから新しいことに挑戦をし、地域の特性をまだ生か

## 通学バスの導入や制服について



質問者  
鈴木 眞徳 議員

この4月から寄中学校の生徒が松田中学校に通い始めて、現在は富士急湘南バスの通学定期を全額補助で対応している

スを購入するお考えはありませんか。このバスは、少な

転車の安全な乗り方大会、遺族会の県合同慰霊祭などに利用できると思

**A**  
総合教育会議や  
準備委員会等で  
決定する

回答（教育長）



町では、事業費の面からバス購入について検討してきたが、平成29年度については、寄地区から松田中学校に通学する生徒の保護者に対し、公共

交通機関によるバス定期運賃の保護者負担分を、町が補助することになった。引き続き「総合教育会議」の中で、これまでどおり「公共交通機関によるバス定期運賃を町が補助」をしていくのか、「バス購入」をするのかなど、多様な選択肢の中で協議し決定したい。中学校統合準備委員会の下部組織に「制服・体操服検討部会」を設置し協議していくことが決まっている。統合後の学校は、新たな制服と体操服のもとで学ばせたいので検討部会で検討を行って

松田中学校の体育祭(5月20日)



# 本町の認知症対策について問う



質問者  
南雲 まさ子 議員

本町の高齢者人口は、平成32年にピークを迎え、団塊の世代が後期高齢者に入る平成37年では、平成26年と比べると1.23倍になると推計され、それに伴い認知症の方の増加が予測されます。

松田町第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画も最終年度となりました。



認知症サポーター養成講座

- (1) 認知症サポーターの受講者を増やす方策についてのお考えは。
- (2) 徘徊高齢者を早期に発見できる地域のシステム作りと、早期発見のためのさらなる施策も必要と思われませんが、お考えは。
- (3) 認知症初期集中支援チームの構築後の充実についてのお考えは。

## 認知症進行抑止 施策を展開

A



回答 (町長)

(1) 認知症サポーター養

成講座を、今後18か所ある地域の茶の間すべてで開催する。また、高齢者がよく利用する商店や銀行等に従事する方、小中学生などへの出前講座の開催に向け調整していく。

(2) 徘徊に対してのシステムとして、足柄上地区徘徊高齢者SOSネットワーク事業等がある。徘徊時、「ご家族や地域の方々が早急に、連携連絡の核となる警察署や自治

体へ一報を入れることが大切なることから、認知症を正しく理解し見守っていただけるよう理解普及を図っていく。

(3) 認知症が進行しない早い段階で、認知症初期集中支援チームに相談して頂くことが大事で、チームの存在や業務の周知を図ること、認知症ケアパスの作成等、認知症に関連した事業内容の充実を図っていく。

## 松田小木づくり校舎の工期と災害時の機能について



質問者  
田代 実 議員

松田小木づくり校舎建設の青写真となる校舎の規模や配置などが、校舎建設基本計画策定委員会で決定され、平成29年度はプロポーザル方式等により設計者と施工業者の企業体を選定し基本設計

に取り組むとのことですので、次の2点についてお伺いします。

(1) 木づくり校舎は、31年度に着手し年度末の3月に完成予定ですが、実質一年足らずの工期に不安を感じます。国の先導



かまどベンチの例  
普段は「ベンチ」、災害時は「かまど」として使用

事業として全国の先進モデルとなる町を挙げたの大事業ですので、32年度までの二か年継続事業という選択肢もありますが、いかがでしょうか。

(2) 災害時の避難所としての役割を担うとのことですが、既存の学校施設避難所との機能の差別化、かまどベンチや防災トイレの設置についてのお考えは。

- (1) 現時点では、平成31年度に校庭へ新校舎建設を計画しているが、木づくり校舎のため木材調達や特別の事情により、工期の延伸が必要になるとも考えられる。工期を初め諸問題解決のために、校舎建設検討委員会に諮って調整していく。
- (2) 松田小屋内運動場は、避難所として指定されているが、階段があるため障がい者や高齢者には利用しづらいので、新たな体育館建設では考慮する必要がある。また、中庭などにかまどベンチや防災トイレ用の下水道直結マンホールの設置についても、前向きに検討していきたい。

## 建設検討委員会で前向きに調整していく

A



回答 (教育長)

# 松田山南斜面の 散策路整備を提案する



質問者  
小澤 啓司 議員

近年、桜まつり等で富士山や足柄平野・相模湾など、雄大な景観が観光客を魅了し、リピーターが増えています。

健康志向と相まって、散策路や頂上までの登山道整備の要望があり、滞留時間の延長や回遊性の観点から、関連農道や旧道の整備と案内板設置を提案しますが、お考えをお伺いします。



松田城址から山頂へ向う

A

**松田山保全・整備  
計画策定の中で  
検討する**

回答（町長）

新たなハイキングコースとしては、桜まつり会場―谷戸農道―山頂へ続く旧道―町道25号線―最明寺史跡公園―西平畑公園のルートが考えられる。県の未病対策の一環として位置付け、整備を進めたい。

本町には、松田山全体について、具体的な方針がない。今後、農業・林業・その他関係者の意見

集約を図り、松田山の保全・整備計画を策定する中で、農道やハイキングコースの整備を検討する。なお、松田城址へのルートを含め、協働社会の

## 交流人口増加への 取り組みについて



質問者  
石内 浩 議員

昨年は、「オール松田」「おもてなし宣言」、今年も新しい取り組みが多く提案されています。町民が最も望んでいることは、「地域資源や人材が交流し、人情味あふれるふれあいが活発な町づくり」と思われますが、次の点についてお伺いします。

- (1) 町の交流人口の実態と、これからのあるべき姿とは。
- (2) 「おもてなし」の上での「緑と清流の町」の

実現に向けて、町民と共に行えることから進めたい。案内看板や道標は、隣接する山北町と協議の上、共通の形での整備を検討したい。

A

**おもてなしの  
まちを目指して**

回答（町長）

具体化策とは。

- (1) 町への観光客数は、年間約60万人ですが、更に新しい取り組みを目指し、町の地域資源を県や国、メディアなどに取り



自然豊かな奇の中津川周辺

上げられるように、町の情報や特徴を売り込む取り組みを進めている。

私の描くイメージは、若者が住みたくなるオシヤシで、外国の方も住みたくなる街、観光事業を中心に様々な産業で雇用を生み、若い事業者が活躍する街である。

(2) 「緑と清流の町」の具体策は、自然と町が融

合した「おもてなしのまち」を目指している。更におもてなしの精神に「心」「魂」を取り込み「郷土愛」を生むことで、町づくりにつなげたい。

また、「緑と清流」は、自然任せでは守れない。地球温暖化防止、CO<sub>2</sub>削減への取り組みには、皆様方へ一層のご協力をお願いする。

# 松田町に入込客を増やすために



質問者  
飯田 一 議員

どこの町でも人口減少に悩んでいます。松田町でも人口が1万1千人を割ろうとしています。人口増加を果たすためには、松田町に人呼び込み、町を知ってもらうことが大事なことを考えます。そこでお尋ねします。

寄地区には「やどりき水源林」があります。ここには県の成長の森があり、森林セラピーも体験でき、毎週土曜日・日曜日には、森林インストラクターが案内をしてくれます。しかし、松田町を紹介



やどりき水源林区域にある県の「成長の森」

する観光パンフレットには紹介されていません。町も県と一体になり、ひとつの観光スポットとして広報を強力に推進することにより、更に入込客の増加が図れると思います。「やどりき水源林」をどのようにお考えですか。

**A**



観光客の開拓に「やどりき水源林」を活用  
回答（町長）

「やどりき水源林」では、神奈川県森林インストラクターによる水源林ミニガイドが年78回、「やどりき森へ行く」のイベントが年3回、約400人の集客が見込める「やどりき水源林のつどい」が開催され、ほとんどの方が町外から来られています。

松田町を紹介するパンフレットは、「ハイキングガイドブック」と「よこそ松田町観光ガイドブック」があるが、この二つのガイドブックについて、平成29年8月の改訂発行に向けて現在、校正作業を進めている。

## 地方創生に伴う寄地域の活性化について



質問者  
齋藤 永 議員

交流人口増加を図るため、農林業と連携した観光事業を進めていく中で、「やどりき水源林・森の案内人」事業は、不可欠となるので、今後も同ガイドブックの内容を更新しつつ、連携して周知を図っていききたい。

町では、地方創生交付金で、寄ヒーリングヴィレッジ（YHV）を創出するプロジェクトに取り組んでおり、愛犬との共生も含め、寄地域全体の賑わいを創出するため事業を展開しています。自然休養村管理センターやみやま運動広場の魅力的な整備は、スポーツ環境や地域コミュニティ、地域の活性化、雇用創出と

して進めることが喫緊の課題とされています。地方総合戦略の重要課題に、ブランド力の向上とオール松田でもてなしと明記され、環境を活かした観光・交流事業を進め、来訪客を増やしていくとあります。大井松田ICから25分の場所にある、みやま運動広場を多目的スポーツ施設として、魅力的に整備するこ

**A**



YHV推進協議会の議題としたい  
回答（町長）

とが寄地域の活性化につながると思いますが、どのようにお考えですか。

みやま運動広場をスポーツの正式な大会が、開催可能となるように整備を行うことで、更なる交流人口を増加させ、宿泊や地域産業の振興をセツトで取り組もうとする内容は、大変魅力的なものである。寄地区を創生する手段としても、大きな可能性を秘めたものと理解している。

ただし、整備に関する費用、地権者の理解、現在の利用者との兼ね合いの問題を解決しなければならず、YHV推進協議会の議題としたい。

# 地方創生拠点整備事業(町民文化センター等のリノベーション)について



質問者  
平野 由里子 議員

建設されて35年、老朽化が悩みだった町民文化センターに、スポーツックライミングウオールを設置し、それに伴う関連設備や公民館のリノベーションも可能となり、大ホールも再び利用可能となるその発案は大変良いと思います。

しかし、総花的にあらゆる機能を押し込んだ結果、文化的な機能が縮小される懸念があります。また、収益性を優先させることで、図書館や公民館の本質的な存在意義を見失いかねないと感じますので、次のことについてお伺いします。

(1) 図書館法の図書館に格上げするお考えは。  
(2) しっかりとした書庫を

整備するお考えは。  
(3) 費用対効果は施設単体で見るとはなく、長い目で町全体の活性化の視点で考えるべきでは。

## A リノベーションの協議会を設立し検討する



回答 (教育長)

(1) 図書館法の図書館になると、著作物の複写など利用者へのサービスのメリット、新築時の国庫補助はあるが、松田町図書館の現状では、十分な図書資料のための空間の不足、必要な職員の不



文化センター図書館書庫(2階)

足などの課題がある。今後、研究調査をして検討していく。

(2) 2階と3階の書庫部分は、別の用途として活用する計画がある。今後設立するリノベーションに伴う協議会で、蔵書数や図書館のあり方、書庫の確保などを検討していく。

(3) スポーツと国際交流未病改善の機能が追加され複合拠点となるが、生涯学習や文化振興、社会福祉に寄与する施設であることは変わらない。施設単体の費用対効果だけを考えるのではなく、長い目で、幅広く町の活性化に寄与する視点も考慮する。

..... 一般質問は、質問者本人の原稿を尊重し編集しています。.....

## 議案審議結果一覧

第2回定例会(6月議会)

○…賛成 ●…反対 可…可決 否…否決 同…同意

議案等番号	議員名(議席順)	審議結果	平野由里子	田代実	南雲まさ子	中野博	飯田一	利根川茂	小澤啓司	石内浩	齋藤永	鈴木眞徳	大館秀孝
議案20	まつだ乾杯条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	松田町介護予防・生活支援拠点施設の設置及び管理に関する条例(産業厚生常任委員会報告)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	松田町個人情報保護条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	松田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	松田町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
25	平成29年度松田町一般会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	平成29年度松田町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	松田町介護予防・生活支援拠点施設の指定管理者の指定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	平成29年度松田町一般会計補正予算(第2号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意 2~9	農業委員会委員の任命について	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 井上栄一議長は、採決に加わらない。

# 平成28年度 政務活動費 収支報告

政務活動費とは、地方自治法及び松田町議会政務活動費の交付に関する条例に基づき、議員の調査研究・その他の活動を支援するために、必要な経費の一部として交付するものです。

交付額は、1人当たり月額5,000円です。年度の初めに1年分(60,000円)を交付し、使用しなかった分は年度末に返還されました。

(単位：円)

議員氏名	交付額	支 出 額				返還額	主な支出内容
		① 調査旅費 ・研修費	② 資料作成 ・購入費	③ 広 報 広聴費	支出計		
平野由里子	60,000	72,453	0	41,456	113,909	0	①視察旅費(※1、※3)、研修費(市町村財政分析財政基礎講座研修ほか) ③議会報告広報紙印刷代
田代 実	60,000	31,445	22,604	0	54,049	5,951	①視察旅費(※1、※3) ②書籍購入費
井上 栄一	60,000	31,445	17,232	0	48,677	11,323	①視察旅費(※1、※3) ②書籍購入費
南雲まさ子	60,000	53,088	3,348	0	56,436	3,564	①視察旅費(※1、※3、※4) ②書籍購入費
中野 博	60,000	31,445	0	0	31,445	28,555	①視察旅費(※1、※3)
飯田 一	60,000	68,355	0	0	68,355	0	①視察旅費(※1、※2、※3、※4)
利根川 茂	60,000	31,445	38,826	0	70,271	0	①視察旅費(※1、※3) ②書籍購入費
小澤 啓司	60,000	50,088	3,596	0	53,684	6,316	①視察旅費(※1、※3、※4) ②書籍購入費
石内 浩	60,000	11,780	9,024	0	20,804	39,196	①視察旅費(※1) ②書籍購入費
齋藤 永	60,000	68,055	0	0	68,055	0	①視察旅費(※1、※2、※3、※4)
鈴木 眞徳	60,000	31,445	0	0	31,445	28,555	①視察旅費(※1、※3)
大館 秀孝	60,000	49,712	8,637	0	58,349	1,651	①視察旅費(※1、※2、※3) ②書籍購入費
合 計	720,000	530,756	103,267	41,456	675,479	125,111	

## 視察の主な内容

※1 山梨県早川町、長野県木曾町、川上村⇒学校の統合、木の学校づくり

※2 富山県上市町、小矢部市⇒薬用植物の栽培及び普及、メルヘン建築のまちづくり

※3 茨城県境町、栃木県那珂川町⇒ふるさと納税、小砂地区「日本で最も美しい村」、温泉トラフグの養殖で町おこし

※4 新潟県糸魚川市、長野県松本市⇒大火現場とフォッサマグナミュージアム、行者にんにくの活用

# 議会報告会で活発な意見交換



開催趣旨説明をする利根川議会広報広聴常任委員長(6/17 町民文化センター展示ホール)

松田町議会では、6月17日に町民文化センター展示ホール(23名参加)、6月24日に寄中学校屋内運動場多目的ルーム(5名参加)で議会報告会を開催しました。この議会報告会は、昨年度から開始したもので、第2回目となり合計28名の参加者があり、活発な意見交換が行われました。

本年度は、寄ヒーリングヴィレッジ事業・複合拠点施設整備(町民文化センター改修)事業・松田町住宅整備事業について、プロジェクトを使用して議会で審議した内容を説明し、その後質疑や意見交換を行いましたので、その概要についてお知らせします。この議会報告会での内容を整理して、執行に関するものは、町長へ要望書として提出します。

## 寄ヒーリングヴィレッジ事業

**質** 指定管理者に移行了た時の収入見込みは理解したが、支出見込みはどのうなのか。

**答** 平成23年度から27年度の決算を基に、支出の審査を委員会でしたところ、動物村からドッグランに移行した際に、飼料代や人件費が大幅に減となり、収支が好転していました。

指定管理者については、次の段階で議案が提出さ

れるので、審査をしていきます。

**質** レストランにだけ入る場合は、入園料や駐車料金はかかるのか。

**答** 入園料や駐車料金はかかりません。(松田会場では、駐車料金はかかる)と説明しましたが、その後、減免規定により駐車料金は無料とすることに決定しました。

**質** 地元でペットを飼っている方が利用する場合、

格安とか無料にしないと協力が得られないのではないか。

**答** 今回の値上げは、本会議や委員会でも審査した際に、町外の方に対しての料金改定で、町内の方は、据え置くとの説明を町よりいただいています。

**質** 町内在住の利用者は



寄七つ星ドッグランとしてオープン

どのくらいの割合か。

**答** 入園者の概ね5%となっています。

**質** プレオープンしたが、来場者は、順調に推移しているのか。

**答** 6月中旬までの間については、概ね2割ほど多くなっています。特に、ゴールデンウィークの時は、かなり多くなったと聞いています。

**質** ドッグプールやシャワーの利用は、入園料以外に料金がかかるのか。

**答** 入園料だけで利用できます。(但し、プロワーカーは有料となります)

**質** この事業は、寄の活性化を目的としているので、レストランの業者は、できるだけ地元の方を使っていたきたい。

**答** 一般から公募し、6月23日に地元の業者に決定したと所管課から聞きました。1社が応募し、地元雇用創出という視点で審査をして、8人雇用のうち6人は地元の寄の方が入っているというこ

とが最新の情報です。

**質** 大井町に大きいドックラン施設ができる情報が入っているか。

**答** 県の未病事業で、元第一生命の所を未病の拠点にするという中に、ドックランの案が書かれていたように記憶しています。

**要望** 指定管理にする前に、入込客の推移に伴う経費の分析を、引き続き議会で行って欲しい。

## 複合拠点施設整備事業 町民文化センター改修事業

**質** 国の方針に目的を合わせて交付金をもらう、良いことしか報告されていない。図書館の書庫がなくなり、本が処分されては困る。一部の人しか知らない中で動いているが、どうなっているのか。また、図書館にコピー機がなく不便である。

**答** 議会で図書館や書庫を重視していないことを質問したときの回答は、これから図書館や蔵書のあり方を含め、この事業全体に対する協議会を立ち上げるということでしたので、議会でもチェックをしていきます。

**質** コピー機は、今年度予算で設置されます。(7月1日設置済)

**質** この事業により文化センターの耐用年数はどのくらい伸びるのか。

**答** 現在、築35年経過しています。あと15年くらい、50年は持たせたいということですが。

**質** 建物の用途が変わると床面積の荷重も変わるが、それを確認して試算されているのか。

**答** これから設計・施工をプロポーザル方式で行うため、今のところアイデアを盛り込んだ段階で



壁にクライミングウォール設置

すので、内容が確定しないとわかりません。

**質** 町民文化センター西側の壁に、クライミングウォールを取り付けることで雨漏り対策になるといっていることが。

**答** 真上からの雨漏りは、修繕等で止まっているが、風雨による横壁からの雨漏りがありますので、これを取り付けることにより、横壁等も補修していきます。

## 松田町住宅整備事業

**質** これから高齢者が増える中、同居やサービス付高齢者住宅のことも考える必要がある。人口増加策で若い人のためにやっているようにとれる

**質** 駐車台数が少なくネックになっている。クライミングウォールの設置によりさらに駐車スペースが減ってしまう。2階建ての駐車場を作れば、観客を呼び出すことができるのではないか。

**答** 2階建ての駐車場も一つの案だと思いますので、町へ要望していきたいと思います。

**要望** ボルタリングやリードクライミングや、町民文化センターを改修する上で、良いアイデアだと思う。書庫は無くさず図書館を充実していきたい。ボルタリング等の施設を作って、より良いものにしていただきたい。

が、説明されたい。

**答** この事業でサービス付高齢者住宅の提案はありませんでした。人口増を喫緊の課題としていますので、子育て向けの住

宅ということで、人口増と税収増を考えています。町屋地区は、子育て世代向けですが、籠場地区は高齢者向けにもなっております。町の考えは、老朽化して点在している町営住宅を集約することで、財政面でも寄与していきたいとのことでした。

**要望** 30年の債務負担でも公債費比率は安全な範囲というが、30年間も安定して事業が続けられるとは限らない。今後PF1方式ばかり採用していくと大変なことになる。民営圧迫にならないよう定住対策の家賃補助とのバランスをとり、総合的に定住対策に取り組んでいただきたい。

**要望** 年間償還額が個別にいくらになるか町民に知らせてもらいたい。年間の予算、収支を考えたととき大変重要なことだと思う。今後の小学校や寄の問題が出てきたときの判断材料とするためにもお願いしたい。



プロジェクターを使用して説明する議員(6/24 寄中学校屋内運動場)



## 住みやすい町を目指して…③0

# 観光とは伝統と進取の調和

前松田町観光協会会長 高橋 宥二(河内在住)

前町長時代から昨年まで15年間、観光協会会長を務めさせていただきました。15年間を振り返り、次の松田町の観光に先手を打つことができるのではないかと、筆をとらせていただきました。

### 「まつだ桜まつり」

平成8年、「21世紀に花を咲かせよう」と西平畑公園に河津桜100本を記念植樹したのが始まりです。

平成11年「まだ幼木ですが…」がキャッチコピーで第1回さくらフェスティバルを開催し、約3千人の方が訪ねてくれました。その後、道路の拡幅、桜300本の植樹で徐々に観光客も増えてきました。

そこで、NHKとTBSに定点カメラの設置をお願いし、桜が咲き始めたニュースや天気予報で放映してもらい、また小田急線の新宿駅や小田原駅等のコンコースに大きな桜のオブジェやポスターなどのPR効果もあり、平成20年の第10回桜まつりには、33万人の出人、新松田駅から仲町通り、松田駅から西平畑公園まで人の波でごった返しました。

これだけの人を迎えられたことは、商店・農家の方にも非常にプラスになり、町の活性化に間違いなく繋がった訳ですが、それを支えるボランティア及び町民の協力があつたからできたのだと思います。

観光協会は期間中の裏方、終わってからはテレビ局、交通会社、協力してくださった方々へのお礼等の仕事を黙々とやりました。

今年の観光客は、ピーク時の半分以下、他市町の桜が力をつけてきたこと、マンネリ化、対応への批判等、マイナス面が出てきました。もう一度原点に返り、何をしたらいいかを考え、実行すれば結果は出ると思います。

### 「まつだ観光まつり」「あしがら花火大会」

まつだ観光まつりの歴史は古く、中心となる奴振りの原点は、明治2年の小田原藩廃藩までさかのぼります。明治35年以後は、寒田神社の祭礼の行列に加わっています。昭和40年代は、商工振興会が中心になり、観光のため寒田神社から独立し、昭和53年より第



第40回まつだ観光まつりは8月26日開催

1回観光まつりとしてスタートし、今年第40回の節目を迎えます。まつだ花火大会は、平成12年に開成町と共催となり、あしがら花火大会として規模を大きくし現在に至っていますが、大井町と3町共催が念願です。

松田町観光協会は、各種まつりの企画運営や資金集め等すべてを任されており、1年中休む暇なく動いています。職員増等で松田町の観光が充実していくことを期待します。

※「住みやすい町を目指して」活動されている方や団体が、このコーナーに掲載を希望される場合は下記までご連絡ください。

## 皆さんの傍聴をお待ちしております! 第3回定例会は9月13日(水)

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議会広報広聴常任委員会
石内	中野	南雲	井上	田代	利根川	
浩	博	まさ子	栄一	実	茂	

私たちは、9月に委員の任期が満了となります。平成27年10月に就任後、2年間に200号〜207号まで累計102ページの編集作業を担当しました。特に、広報紙の顔となる表紙には、その時々々の行事の活気ある雰囲気や伝わるようにと、心がけました。そして、上段の住みやすい町を目指して…③0は、町民の皆様からの寄稿によるもので、8年目を迎えております。今後、開かれた議会・わかりやすい議会を目指して参りますので、よろしくお願ひします。(田代)

